

古文書近世史料目録

第 18 号

米沢市 安田家文書

平成 8 年 3 月

山形大学附属博物館

凡 例

1. 本目録は、安田慶一氏(分家)より本館に寄託された、米沢市の安田家の古文書を収録したものである。
2. 分類は、日本十進分類法に準じて試案された天理大学図書館の平井良朋氏の研究による「近世資料主題分類法」によったが、これに少々手を加えて改訂して用いている。
3. 類別番号は百区分項目ごとの通し番号である。内容によりできる限り年代順に配列したが、整理の都合で多少年代が前後したものもある。
4. 表題は、原名のあるものはこれを取り、その無いもの、または内容を端的に表わしていないものには、その内容にふさわしい表題を仮に命名し、括弧付けにして示した。
5. 差出人(作成人)・請取人は、それが複数の場合、原則として当事者か代表者のみを記した。また史料が覚や写・控の場合であっても、作成人でなく差出人を示したものもある。
6. 年代は年・月・日にとどめ、干支は特別の場合を除き削除した。
7. 形態は、単独・冊子・横帳・横小(横帳の小型のもの)があるが、同種類のをまとめて数葉入れたものや、合綴として一点としたものもある。

なお、本目録に収録した古文書の整理、及び解説にあたって、須崎寛二氏・山形大学教育学部 伊藤清郎助教授に多大なる御尽力を賜りましたことをここに記して、感謝の意を表わします。

大見安田氏と大見安田家文書

大見安田氏をめぐって

鎌倉期大見氏は越後国^{しらかわ}白河荘の地頭であった。白河荘の範囲は、現在の新潟県北部、北蒲原郡^{やすだ}安田町・水原町^{すいばら}・笹神村と京ヶ瀬村^{とよさか}・豊栄市の一部にあたる。同荘は長承3(1134)年に立庄化し(九条家文書)、殿下渡領(本家職)で、領家職は九条家とその出身者に相伝された。立庄時の現地管理者は、越後北部に大きな勢力を有していた城氏(この時は城助職)と考えられる。源平の争乱の中で城氏の勢力が衰退する一方、功により伊豆国の御家人大見氏(田方郡大見郷に拠る。宇佐美氏と同族、平姓)が同荘の地頭に補任される(大見家秀の時とされる)。大見氏はやがて荘内を分割領有して、山浦^{やまうら}・水原・安田の三氏に分かれていく(惣領は山浦氏)。その後、山浦氏は水原氏との入嗣関係から水原氏に吸収されるが、その山浦氏には守護上杉氏が入嗣し、山浦上杉氏は次第に一帯に勢力を広げ山浦地方は府内に次ぐ第2の政治的中心となっていく。応永30(1423)年越後国で起きた応永の大乱(守護上杉氏、守護代長尾氏各一族間の争乱)の際には一方の核となった。戦国期には阿賀北の国人衆の一員として水原・安田各氏も活躍するが、やがて上杉(長尾)氏の家臣となり、いくたの戦功をあげる。その後、安田氏は、上杉氏の会津時代には2700石、米沢入部で833石余、寛文半知で416石余となり、代々、上級家臣である侍組に属した。

大見安田家文書

この度、安田慶一氏(札幌市在住、分家)から山形大学附属博物館に寄託された文書数は603点におよぶ。近世・近代に関するものがそのほとんどなのであるが、中世に関するものも数点ある(兵法書など)。そのなかでも嘉暦2(1327)年8月24日付、検注名寄帳は出色の文書である。この文書は、料紙(楮紙、1紙は、たて30.2cm、よこ40.0cm)を25紙貼り継いだもので(紙継目裏花押がある)、白河荘安田家

における領主支配のあり方を示す史料である。名分(前欠がある)・給分に区分され、名分でいえば、まず納税者(一分)を記し、一筆毎の田数(刈高表示)と地名・作人名とを記して、それをまとめた田数(刈高表示)とさらに上田・中田・下田毎に地種を区分して各々年貢高(貫高表示)を記し、最後に畠代も含めた全年貢高(貫高表示)を記す。そして末尾にその名全体の田数・代銭数をまとめて名を把握するという記載の仕方でもとめられている。検注使は安田氏の家臣(中間)2人であり、地頭安田氏によって作成されたものである。鎌倉期における在地領主の支配に関して具体的にわかる史料は極めて少く、この史料は極めて貴重なものといえる。この文書は、今後全国的に注目されていくものと思われる。次に、近世に関しては、上級家臣として藩の要職も勤め、ために米沢藩の藩主関係、政務や法令に関する文書が多く、米沢藩政史研究には貴重と思われる。また上杉鷹山が家督する前後の日帳、文久3(1863)年の米沢藩上洛時の日記などもある。また、給人知行関係、借金のトラブル、武芸の免許書、連歌、それに家系に関するものがある程度まとまっていて注目される。

番号	表 題	差 出 人 (作成人)	請 取 人	年 代	形 態
(01) 歴 史					
01- 1	越後軍記 上巻	安田		不明	冊 子
01- 2	〃 坤	〃			〃
01- 3	(歴史雑控)	安田氏控		享保5年	横 帳
01- 4	年代記(年号記)			寛政年間	横 小
01- 5	沿革私記(慶応元年10月より明治4年8月までの米沢藩の推移)	安田秀嶺			冊 子
01- 6	川中嶋戦争見聞□	千坂親通		昭和5.2.15	〃
01- 7	公方並征夷將軍のこと			不明	単 独
01- 8	年号表			〃	折 本
01- 9	(元号その他控)	安田氏控		〃	〃
(02) 伝 記					
02- 1	將軍家齊公御言行録			文政12.6写	冊 子
02- 2	上杉謙信公略履歴			不明	〃
02- 3	上杉謙信公	高村綱男編著		昭和3.4.25	〃
02- 4	上杉鷹山公	富永周太編		昭和5.10.30	〃
02- 5	秋山武三郎氏小伝	赤井運次郎編		昭和12.5.10	〃
02- 6	西條駒次郎翁小伝	西條信哉他3名		昭和16.10	〃
(03) 地 理					
03- 1	高湯温泉誌	伊藤 源助編 岡崎弥平治		明治29.6	冊 子
(04) 地 図					
04- 1	江戸御中ヶ之間ノ図	安田氏控		不明	単 独
04- 2	安田家下屋敷絵図			〃	〃
(05) 紀 行					
05- 1	日記 (北陸道を通って京都へ)	安田氏		文久3年カ	横 帳

(06) 博 物

06- 1	(諸物知り覚書)	安田氏控	不明	単 独
06- 2	(花火の薬配合カ)		〃	〃
06- 3	(薬の効能・処方)		〃	横 小
06- 4	安驥集抜書(薬の処方)		〃	冊 子

(07) 美 術 ・ 芸 能

07- 1	御木馬寸法(図)	安田秀精カ	享保4.11	単 独
07- 2	木碎(木製品のつくりかた)		不明	横 小
07- 3	(前欠) (利休伝 竹花生の作図)		〃	単 独
07- 4	菊番付		〃	〃
07- 5	可用花大概		〃	〃
07- 6	(茶を点てる順序)		〃	〃
07- 7	利休百会(写本)		〃	横 小
07- 8	(茶の湯のこと)		〃	単 独
07- 9	茶道の竹筒の図	安田氏控	〃	〃
07-10	茶つぼの形の図	〃	〃	〃
07-11	御陽成院様御法董良香 (の製法)	〃	〃	〃
07-12	糸切りの次第(やきもの)	〃	〃	〃
07-13	(釜の図いろいろ)	〃	〃	〃
07-14	水墨之伝方	〃	〃	〃
07-15	(酒振舞の礼法カ)	〃	〃	〃
07-16	不明(図)	〃	〃	〃

(08) 文 芸

08- 1	新式目(連歌新式)		元龜2.11写	冊 子
08- 2	連歌一卷	安田信親他	貞享元.11.2	単 独
08- 3	〃	常軒選・信親 他4名	貞享元.11.3	〃

08- 4	連歌一卷	常軒選・信親 他 5 名	元禄頃	単 独
08- 5	〃	安田信親 他 6 名	〃	〃
08- 6	〃	安田信親 他 7 名	安田新六郎 元禄頃カ	〃
08- 7	追善連歌	常軒選	不明	〃
08- 8	〃	〃	〃	〃
08- 9	連歌一卷並評言(後欠)		〃	〃
08-10	連歌一卷	昌陸他 8 名	〃	〃
08-11	〃 (一部切れ)		〃	〃
08-12	連歌残簡		〃	〃
08-13	鈕(カ)本(連歌の質疑書)	安田氏	〃	折 本
08-14	項羽本記ヨリ史記雑誌		〃	横 小
08-15	好右堂隨筆・曲尺		文政13.11.21写	冊 子
08-16	野辺の若菜	安田氏	(明和 4 年) 天保2.6写	〃
08-17	古典文学書の写本部分 (源氏物語カ)		不明	単 独
08-18	(古典文学書の写本)		〃	横 小
08-19	(平家滅亡についての所感文)		〃	単 独
08-20	(漢詩カ)		〃	〃
08-21	盆山之十徳(白居易作)		〃	〃
08-22	(和歌五首 - 小倉百人一首 から)(手習用カ)		〃	〃
08-23	松の葉(処生訓カ)		〃	〃
08-24	(五づくし)		〃	〃

(09) 学 芸 ・ 教 育

09- 1	一鉢鉢(手習本カ)		不明	折 本
09- 2	(前欠)教訓和歌集		〃	横 小
09- 3	無題(家臣の奉公の心がけ)		〃	〃

09- 4	告志篇(人生訓)	松平将監頼位		天保4.3.23	冊子
09- 5	朝名々々 (元徳院様御教諭之御文)	上杉鷹山		文化年間以降	〃
09- 6	五常五倫名義	室直清著		天保2.正写	〃
09- 7	聞伝之道歌集			不明	単独
09- 8	古人の訓元カ	安田氏控		〃	〃
09- 9	定法(鯨尺の換算ほか)	〃		〃	〃
09-10	賞状(寒稽古)	米沢中学校長		大正2~同4	合綴
09-11	卒業証書(安田もと)	米沢市 興讓小学校長	安部もと	明治41.3.24	単独
09-12	卒業証書ほか	各校長	安田直記	大正6~同13	合綴

(10) 支 配

10- 1	將軍宣下付而関東江参向之 堂上方			徳川秀忠代カ	単独
10- 2	伊丹播摩守御折鑑之條々	幕府	井伊掃部頭 他3名	寛永9.3	単独 2通
10- 3	條々(藩政につき)	御黒印	上杉喜平次	承応2.2.12	単独
10- 4	(前欠) (明暦大火後の規制条々)	幕府		明暦3.1.25	〃
10- 5	堀田上野介訴状之趣 (訴状写及び佐倉城接收まで)	堀田上野介	將軍	万治3.10	〃
10- 6	武家諸法度			寛文3.5.23	〃
10- 7	丹羽若狹守殿御家督につき 御献上物之覚ほか			延宝7年	合綴
10- 8	越後高田之城御取渡付而万 覚書	片倉次左エ門		延宝9.8.15	単独
10- 9	(前欠)服忌半減につき	幕府カ	米沢藩カ	貞享4.2.9	〃
10-10	黒印状写(天下の政事につき)	御黒印	諸大名	正徳2.10	〃
10-11	御遺状御宝蔵入百箇條 (徳川將軍家の諸規式)			享保年間	冊子
10-12	侍組中の菩提寺改め			元文6.正改	横小
10-13	徳川將軍家・御三家忌日等表	香雲亭		天明6年以降	単独

10-14	仙台飢饉・大坂変事 (大塩の乱)			天保8.3	冊子
10-15	書状(返礼渡すので出頭せよ)	松平伊豆守内 福富平太夫 他2名	上杉弾正大弼様 御留守居中	3月	単独
10-16	(将軍家御成能興行の次第カ)			不明	〃

(11) 領 主

11- 1	(直江状写)(前後欠)	直江兼統	承兌	慶長5年	横小
11- 2	御参勤御伺之御使者被仰付 万留帳	安田氏控		元文5.10.15	横帳
11- 3	寛永20年会津御勢遣の覚書	安田秀村カ		元文6.正.15写	冊子
11- 4	上杉綱勝代の事項控	安田氏控		不明	単独
11- 5	老中4人連署書状 (参勤問合せへの返書)	老中土屋 他4名	上杉民部大輔	宝永2.11(カ)	〃
11- 6	(米沢藩主過去帳控)(覚書)			享保18年頃	〃
11- 7	進上 (御入部につき太刀馬代進上)	安田治部秀精	大熊常右エ門 他1名	延享4.12.25	〃
11- 8	御手扣写(両組の鉄砲先勤 争いにつき諭書)	藩主上杉治憲	馬廻組 五十騎組	明和6.12	〃
11- 9	御口上書(御判物頂載につ き諸々様への口上書)			天明5年(カ)	〃
11-10	御口上書(御判物拝領につき)	安田栄秀カ		天明年間カ	横小
11-11	御系譜略説一覽	安田氏控		寛政年間	折本
11-12	(出府の節諸方様へ挨拶の 案文留)(覚書)			寛政頃カ	〃
11-13	齐定公文化九年御家督ニ付 御武具御召初迄岩井日帳借 受抜書			文化9~同11.正 天保10.4.13写	冊子
11-14	御発駕御行列	安田氏控		文政3.3	横帳
11-15	米沢藩主過去帳(覚書)			文政年間カ	単独
11-16	無題(幕府より藩政褒賞に つき書留)	安田友弥カ		天保7.4(カ)	〃
11-17	近江様より御口上(藩主家 族よろしくと)		藩主と家族	3.14	〃

11-18	(上杉家親類控)	安田氏控		不明	単 独
11-19	元服御作法書	〃		〃	折 本
11-20	表御座之間御上段御飾 (覚書)			〃	単 独
11-21	米沢御座之間絵図			〃	〃
11-22	御口上被仰含候節御座敷之図			〃	〃
11-23	(重臣たちに御盃被下の絵 図)(覚書)			〃	〃
11-24	駿河守様・幸松様より屋形 様外へ御返答の控	安田氏控		〃	〃
11-25	江戸にて相渡御口上 (参勤御伺)	〃		〃	〃
11-26	(米沢藩主歴代一覽)(覚書)			明治初年	〃
11-27	(旧藩主子女の生年月日表カ)	安田氏控		明治30年頃	〃

(12) 藩 士

12- 1	(高八三〇石の軍役)	安田筑前守	松木石見守 他1名	寛永元.8	単 独
12- 2	伊達信夫諸給人新古共所納 方定之事	左近助 他3名	給人一統	寛永20.10	〃
12- 3	隠居・家督之一巻	安田秀積カ		元文 2.10~12月	冊 子
12- 4	侍組知行附	松本惣三郎		宝暦6.正	横 小
12- 5	(米沢藩侍組衆の屋敷割図) (覚書)			宝暦年間頃	単 独
12- 6	侍附(侍組名簿)	安田堅親		明和4.2.15改	横 小
12- 7	御祝儀代受取申事	長三郎左衛門 他2名	安田彦平太	明和年間(カ)	単 独
12- 8	安田栄秀隠居・同秀俊家督 の覚書			享和2~同3	冊 子
12- 9	書状(家督認可につき招待)	安田友弥	長尾権四郎	享和3.正	単 独
12-10	隠居願~済までの行事留 その1	安田秀俊		文政10.8	冊 子
12-11	隠居願~済までの行事留 その2	〃		〃	〃
12-12	書状(隠居及び家督認可につき)	安田但馬秀俊	竹俣備中	(文政11カ) 1.21	単 独

12-13	書状(家督認可御札)	安田友弥秀政	毛利上総	文政11.2.8	単 独
12-14	〃 (隠居及び家督許可につき)	安田但馬秀俊	〃	〃	〃
12-15	〃 (〃)	〃	本庄権兵衛	文政11.2(カ)	〃
12-16	越後以来御知行方都而之書物(袋表のみ)	安田氏		天保7.8.17	〃
12-17	侍組座並知行之次第	安田友弥控カ		不明	横 小

(13) 役 職

13- 1	荒砥御役將被仰付につき	安田秀積		享保4.2	横 帳
13- 2	御窺之覚(座並びにつき)	安田彦平太	市川美濃	(明和頃カ) 2. 25	単 独
13- 3	年始・家督の祝儀受取状	宮部孫五郎	安田様御用人中	天明5.7	〃
13- 4	御窺申上候覚 (唐花葵紋付着用につき)	安田但馬	長尾権四郎	寛政元.3	〃
13- 5	書状(唐花紋付着用願につき)	長尾権四郎	安田但馬	寛政元.4	〃
13- 6	(登城の呼出し状)	千坂太郎左エ門	〃	(寛政頃カ) 11.26	〃
13- 7	天正六年以来の御書差出につき			5.26	〃
13- 8	履歴書	安田彦平太秀嶺		天保14～ 明治4	冊 子
13- 9	秀成家督後之経歴			明治4～同35	〃
13-10	安田彦平太勤書(前欠) (控書)			明治8～同19	合 綴
13-11	安田彦平太の辞令控			明治11～同19	単 独
13-12	彦平太隠居後之経歴	安田秀嶺		明治8～同19	冊 子
13-13	安田悌太郎辞令綴	山形県	安田悌太郎	明治12～同13	合 綴
13-14	安田秀成の辞令綴	各官庁	安田秀成	明治14～同25	〃
13-15	(安田悌太郎係名記載付札)			明治前期	〃
13-16	(安田秀成係名記載付札)			〃	〃
13-17	安田秀成の裁判所書記任命書ほか	司法省・岡山県		明治22～同23	〃

13-18	出頭通知状	岡山県 赤坂郡役所	書記安田秀成	明治23.10	単 独
13-19	安田小次郎の辞令類	各会所		明治30~同36	合 綴
13-20	履歴書	安田小次郎		明治36年(カ)	〃
13-21	履歴書(安田小次郎)	安田小次郎		明治39年 同44年	合 綴 2 通
13-22	(諸取次手控)	安田氏手控		不明	折 本
13-23	御使者之節万事之留(袋のみ)	安田氏		〃	単 独

(14) 政 務

14- 1	直江重光書状(写)	直江重光(兼統)	柿崎掃部助	不明	単 独
14- 2	(谷田父子成敗につき)	〃	庭井善右ヱ門 他 2 名	12.23	〃
14- 3	万治元年分居役金請取申候事	石栗善七	安田治部少	万治2.2	〃
14- 4	江戸諸(中欠)帳(勤務日記)	安田新六郎信親カ		貞享3.6.21	冊 子
14- 5	御擬之覚 (江戸登りの給付内訳)	奉行衆	安田新六郎	元禄頃(カ)	単 独
14- 6	(諸留書残片)			宝永2年頃	〃
14- 7	仲人衆意得之覚書	長尾四郎右ヱ門	黒川小平太 他 2 名	宝永4.7.19	冊 子
14- 8	日帳			元禄14.10.27	〃
14- 9	諸政務覚書			貞享~享保頃	横 小
14-10	(將軍家宣薨去につき諸留書)	安田氏控		正徳2.10	〃
14-11	江戸ニ而相渡御口上 (老中達への口上覚書)			(正徳頃) 11.19	単 独
14-12	公方様江八朔之御祝義被献 御使者被仰付萬留書帳	安田秀積		享保2.7.4	冊 子
14-13	新戸務中万之手扣	〃		享保4年カ	横 小
14-14	於米沢御使者被仰付次第 (後々のための手引書)	千坂高就		享保15.7	冊 子
14-15	覚(居役金の算定法につき)	安田彦平太	御借物御蔵	享保頃カ	単 独
14-16	元文五年十月十五日御参勤 御使者被仰付候付萬覚帳	安田秀精		元文5.10.15	冊 子

14-17	御火消方被仰付候より之留帳	安田秀村		明和3.5.21	冊子
14-18	江戸詰中勤方諸事留帳	〃		明和4.12 ~同6.4	〃
14-19	産語(殖産興業の意見)			安永3.9 天保4.6.18写	〃
14-20	覚(江戸御使者の御擬につき)	米沢藩庁	安田但馬	天明8.2	単独
14-21	但馬供廻江御賄代請取申事	安田家人用(カ)	御台所	天明8.3	〃
14-22	御判物頂戴ニ付右御札御使者被仰付候萬勤方留帳	安田但馬栄秀		天明8.3.1 ~同8.4.15	冊子
14-23	覚(江戸御使者の御引替金ほかにつき)	米沢藩庁	安田但馬	天明8.9	単独
14-24	(登城の呼出状)	平林蔵人	〃	(享和年間カ) 10.20	〃
14-25	寛政上言	片山紀兵衛	藩庁	寛政2.12	冊子
14-26	手扣(火事場出勤につき)	米沢藩	侍組一統	寛政8.7	単独
14-27	東岳院様御逝去につき屋形様御発駕延引の留			寛政10.3	冊子
14-28	諸願書留	安田栄秀		明和~寛政	〃
14-29	謙信公御祭典につき意見書	安田但馬	米沢藩(カ)	(寛政12以降) 2.13	単独
14-30	馨香編(藩政への意見書)			文化4.正.15 天保6.7.6写	冊子
14-31	安田但馬諸留書	安田但馬		文化6年	〃
14-32	將軍家より鶴拝領につき江戸登り諸留	安田但馬控		文化6~7年	〃
14-33	若殿様御口上書			(文化9年カ)	単独
14-34	覚(病馬払許可)	米沢藩庁	安田但馬	文政8.3	〃
14-35	謹而上書仕候事(藩政への意見案文)	安田但馬		天保6.3	合綴
14-36	三保長屋焼失につき組合立入之留(覚書)			天保8.12	単独
14-37	出府留書(前欠)	安田氏控		天保8年頃	冊子
14-38	記録(異国船渡来など)	安田悌次郎控		嘉永5年	横小
14-39	巻懐録仮(諸覚)	安田氏		文久元年仕立	〃
14-40	米沢藩上洛に付諸書留	安田秀巖控カ		文久2.12	横帳

14-41	日記 道中並上京中触達並格別之風聞			文久 3.正.21~	横 小
14-42	上京中御触達並格別之風聞 日記留扣帳	安田悌次郎控		文久 3.3.1~	冊 子
14-43	在京中日記	安田致遠		文久3年カ	横 小
14-44	在京中日記並道中記録	安田悌次郎秀嶷		文久年間カ	〃
14-45	在京中日記 八月ヨリ	安田秀嶷カ		〃	〃
14-46	勤向之箇條(江戸にて)			不明	〃
14-47	懐(カ)中心扣(江戸勤めの覚)			〃	〃
14-48	為御聞合之覚			寛政以降	単 独
14-49	(諸事記録残簡)			〃	合 綴
14-50	手扣(勤向きにつき)	本庄弥次郎	三仲人(三筆頭)	1.21	単 独
14-51	(屋形様御巡見につき)	〃	惣組中	不明	〃
14-52	勸方(江戸登りしての諸家 挨拶廻りなど)	安田氏控		〃	〃
14-53	江戸江渡ル御口上	〃		〃	〃
14-54	(江戸勤めの日記断簡)	〃		〃	〃
14-55	御書付之写(会所番萩原利 捨孝養につき褒賞)	米沢藩	萩原利捨	2.17	〃
14-56	御趣意之大旨 (時勢切迫につき)	〃	頭々中	2月	〃
14-57	御内意之大旨 (調練向出精につき)	〃	侍組諸頭中	不明	〃
14-58	(宗廟祭祀御執行につき)			〃	〃
14-59	御城勤之図			〃	〃
14-60	(日帳残簡)			明治元・2年	〃

(15) 法 令

15- 1	慶長の御条目	米沢藩	家臣一統	慶長17.8.13	単 独
15- 2	御条目(前後欠)	〃	〃	寛永10.11.8	〃
15- 3	(諸掟残簡)			慶長・寛永	〃
15- 4	諸給人知行方所納之覚	須田右近 長尾権四郎	給人一統	天和3.10.15	〃

15- 5	掟(御奉公道・生活等)			近世初期カ	単 独
15- 6	享保5年被仰出之御條書之写	藩庁	家中一統	享保5.4	折 本
15- 7	元禄六年被仰出候服忌令追加之内 今度御省略被仰出候追加並御増補之追加	米沢藩	家臣一統	元文元.9.15	単 独
15- 8	触書留	(安田秀精)		元文 3.正~6月	冊 子
15- 9	原方出火之節出勤被仰出並ニ火事場勤方之覚	(〃)		寛保2.7	〃
15-10	覚(城中お目見のしかたにつき)	米沢藩庁	侍頭中	延享元.11	単 独
15-11	御締り之書立	米沢藩	家臣一統	寛延元.12	〃
15-12	平林藏人殿御役放閉門ニ付夫より触書留	安田秀村		宝暦7.4.21~	冊 子
15-13	触書留	〃		宝暦11.6~12月	〃
15-14	〃	〃		宝暦12.6.4	〃
15-15	〃	〃		明和3.正.5	〃
15-16	〃	在江戸 安田秀村		明和4.12.15~	〃
15-17	手扣の写(上覧鉄砲先勤のことにつき)	米沢藩主 上杉治憲	馬廻・ 五十騎兩組	明和6.12	単 独
15-18	(七家騒動断罪の諭告)	〃	家臣一統カ	安永2.7	〃
15-19	諸触留帳	安田栄秀		安永8.正	横 帳
15-20	〃	〃		天明元.12.28~	〃
15-21	下着之節御前より御口上之留(覚書)			(上杉治憲代)	単 独
15-22	(米沢へ出立の許可書)	色部典膳	安田但馬	天明8.4.1(カ)	〃
15-23	御触書	安田栄秀カ		寛政元.8~9月	横 帳
15-24	覚(諸士の二・三男土着奨励ほか4点)	米沢藩庁	家臣一統	寛政4.11	単 独
15-25	覚(城内通行の注意)	〃	〃	寛政6.12	合 綴
15-26	御本丸ニ之丸御メリ御門番勤方等につき新御達之留	〃	各係	〃	冊 子
15-27	手扣(大俵につき御規式のこと等)	安田氏控		寛政7.12	横 帳

15-28	手扣(意見書提出及び儉約につき)			寛政9.11	単 独
15-29	御家御嫡庶之分ほか	米沢藩		寛政10.2.28	横 帳
15-30	寛政十二年被仰出候御書立	〃	家臣一統カ	寛政12.7	単 独
15-31	書状(出府命令につき)	千坂太郎左衛門	安田但馬	寛政頃カ	〃
15-32	諸命令の目次			寛政頃	冊 子
15-33	儉約令の7ヶ年延長につき	米沢藩	家中一統	文化元年11・12月	〃
15-34	御在国御在府年中定例之触書並勤方留帳	安田秀俊		文化3.12	〃
15-35	従御先代様追々臨時之被仰出触書大略	〃		文化4年	〃
15-36	覚(城内の通行につき)	米沢藩	諸組一統	文政11.10.26	単 独
15-37	口演手扣(儉約につき)	米沢藩庁	侍組中(カ)	天保4.9	〃
15-38	上意之大旨(御大儉)	米沢藩	家臣一統	天保5.8.23	横 帳
15-39	被仰出御締道一式	藩庁	家中・町在	天保13.3	横 小
15-40	儉約令(諸家業への規制)(前欠)	米沢藩	農官一統	〃	単 独
15-41	取締条々(前欠)	米沢藩庁	村々	天保13.4	単 独
15-42	百姓(百姓への儉約令)(後欠)			天保頃カ	〃
15-43	上意大旨(大儉諭告)	米沢藩庁	藩士一統カ	天保年間カ	〃
15-44	嘉永六年御大儉被仰出候節申合書	米沢藩	家臣一統カ	嘉永6.6	〃
15-45	三ヶ年大儉令	〃	諸組頭	嘉永6.10	〃
15-46	非常嚴重の大儉令	〃	諸組頭々 一列筆頭	安政2.11	〃
15-47	三ヶ年大儉令につき申合書			〃	〃
15-48	御大儉につき条書	米沢藩庁	家臣一統	安政4.10.11	〃
15-49	軍制・礼典等改革につき	米沢藩	諸組頭々 一列筆頭	文久2.11	単 独 3 通
15-50	御復之ヶ條左之通	〃	〃	慶応元.7	単 独 2 通
15-51	上意大旨(諸締道)	〃	家臣一統	上杉齊憲代カ	単 独

15-52	(儉約令)	米沢藩	各支配頭	子年 8月	単 独
15-53	御手扣(家臣の勤方示達)	米沢藩庁	侍頭中	6.1	〃
15-54	(儉約道心得書)	米沢藩	〃	11月	〃
15-55	手扣(儉約道徹底につき)	平林藏人	家臣一統カ	2.14	〃
15-56	口達(儉約道につき)	米沢藩主	〃	不明	〃
15-57	覚(海浜備えのため儉約道徹底)	米沢藩	侍頭衆	11月	〃
15-58	覚(鉄砲御改の改正につき)	〃	侍組	7月	〃
15-59	口達(文武出精につき)	米沢藩庁	侍組中	〃	〃
15-60	諸書留の残欠 (御規式の祝詞等)	色部典膳・ 毛利内匠など	安田	不明	〃

(16) 財 政

16- 1	進上(太刀と馬代)	安田彦平太秀積	山田六左衛門 戸村善兵衛	(享保頃カ) 3.29	単 独
16- 2	〃 (〃)	〃	山田多七 水越十郎兵衛	1.1	〃
16- 3	御家督祝儀献上受取証	河田九郎左エ門 他1名	安田但馬宗秀	安永6.12.24	〃
16- 4	進上(御太刀・馬代献上)	〃	〃	安永8.12.28	〃
16- 5	御太刀・馬代献上の受取証	〃	〃	天明7.12.21	〃
16- 6	進上(御太刀及馬代献上)	宇加地加右エ門 富所半左エ門	〃	寛政2.5.16	〃
16- 7	江州山門諸堂社御普請御手 伝ニ付差上金上納之事	御金蔵	安田但馬	寛政11.12.29	〃

(18) 軍 事

18- 1	(前欠)剣術秘伝書カ(写)	平朝臣高井三郎 四郎為頼		長享3.5.22	単 独
18- 2	摩利子天尊 鳥之巻(兵法)			天文3.3.28	〃
18- 3	霞のかな書の事(刀術)	かハ村助兵衛	平村又助	弘治2.2	〃
18- 4	天流起並掟之支	天流判官乗虎	安田堅親	天正13.4	〃
18- 5	天流口伝集段(中太刀口伝)	〃	〃	〃	〃
18- 6	天流小具足一流之秘術	〃	〃	〃	〃

18- 7	召取之秘術	天流判官乗虎	安田堅親	天正13.4	単 独
18- 8	八天狗巻	〃	〃	〃	〃
18- 9	権柄一流秘術 天流	〃	〃	〃	〃
18-10	身曲秘伝	〃	〃	〃	〃
18-11	極位(剣法)	〃	〃	〃	〃
18-12	八秘之術道	〃	〃	〃	〃
18-13	高八百三十拾石(の軍役届)	安田筑前守	松木石見守 他1名	寛永5.8	〃
18-14	馬術秘伝書(写)			寛文2.9.5	〃
18-15	安田新六郎隠居ニ付萬改帳 (荒砥役屋の引継文書)	安田新六郎	下条治郎右衛門	宝永2.2.22	冊 子
18-16	荒砥御役屋諸事改帳(仮称)	安田彦平太		元文2.12.19	〃
18-17	当流伝授につき誓文(案文)			(正徳2年カ)	単 独
18-18	雪荷流射芸得御指南申ニ付 以神文申盟之事(案文)			〃	〃
18-19	五輪碎之次第之事(弓術カ)	安田秀積写		正徳4.4.6写	冊 子
18-20	鉄砲割立覚書			正徳5.3.11	〃
18-21	日置流弓法大系図			(元文5年カ)	折 本
18-22	日置流弓印可状	黒川小平太義直	安田彦平太	元文5.4	単 独
18-23	射術免状(雪荷流)	安田治部秀精	長尾四郎右ヱ門	延享3年	〃
18-24	神文之事 (雪荷流射術伝授につき)	市川孫次郎	安田秀村	延享4.8.15	〃
18-25	夢覚流根元目録	大平源五左ヱ門 道次	安田但馬榮秀	安永9.11.27	〃
18-26	夢覚流初心書(剣術カ)	〃	安田但馬	〃	〃
18-27	馬術門人名簿カ	安田栄秀カ		安永～ 享和頃カ	単 独 2 通
18-28	神文之事(馬術の掟書)	常陸国太田住 山下勘右ヱ門能昆	安田但馬	寛政3.8.吉	単 独
18-29	武器・具足書上帳	安田悌太郎	藩庁	嘉永2.6	横 帳
18-30	覚(250石以上の者の鉄砲改 につき)	米沢藩庁	侍組中	5月	単 独

18-31	軍陣にのぞむ心得書 (唱言・経文など)		不明	折本
18-32	新当流手理剣之目録		〃	単独
18-33	調練の控(カ)		〃	〃
18-34	(戦の法の残片)		〃	単独 2通
18-35	覚(所蔵書の目録カ)	安田氏控	〃	単独
18-36	旗差物図案(カ)		〃	〃
18-37	駒返之法	安田氏控	〃	〃
18-38	弓の的の作図カ		〃	〃
18-39	一張弓(弓の造り)		〃	〃
18-40	無覚流初心書		〃	折本
18-41	射儀指南		〃	冊子
18-42	〃		〃	〃
18-43	射儀指南抄		〃	横小
18-44	弓術の道歌集		〃	〃
18-45	(前欠)(射術秘伝書)		〃	〃
18-46	射礼式 全		〃	〃
18-47	中巻目録(馬術)		〃	冊子
18-48	出陣漫録		〃	〃
18-49	武備志拔書一	安田秀俊輯	〃	〃
18-50	〃 二	〃	〃	〃
18-51	要鑑抄奥議目録(兵法)		寛延元年	〃
18-52	武門要鑑抄 卷之三(兵法)		不明	〃
18-53	〃 四(後欠)		〃	〃
18-54	〃 卷之七		〃	〃
18-55	〃 卷之九		〃	〃
18-56	(吉田流兵術書)		〃	〃
18-57	(軍法侍用集)		〃	〃

(19) 藩 学

19- 1 講談開催につき出席勧誘 侍組々下 9月 単 独

(20) 土地・租税

20- 1 検注名寄帳 見注使弥七家信 地頭 嘉暦2.8.24 単 独
左近入道法観

20- 2 山上分ニ而下屋敷並開地之覚 安田氏控 文化4年以降 合 綴

20- 3 於米沢諸給人江被下置御知 〃 不明 横 帳
行物成之覚

(25) 上 納

25- 1 寛四分大笹生村来銀共御年 庄兵_エ 寛永(カ) 冊 子
貢出し申者共書物之事 満右_エ門 5.9.2

25- 2 □野村ニ而御所納可被成高 □野内村 安田治部 明暦3.12.25 〃
物成之新帳 与惣左_エ門
九左_エ門

(36) 戸 口

36- 1 宗門改帳残簡 単 独
2 通

36- 2 安田家宗門改帳の部分 安田友弥 天保5.2.10 単 独
(前後欠)

36- 3 戸籍帳(安田家) 明治26年頃 横 小

36- 4 戸籍帳 安田秀成 明治31年頃 冊 子
(大正年間追筆)

(41) 警 備 ・ 取 締

41- 1 以口上書申上候事 安田友弥叔父 関原九左_エ門 天保12.1.28 単 独
(隣家火災につき) 他1名

(42) 騒 擾

42- 1 野本忠左_エ門書物之写 野本忠左_エ門 弥八郎他3名 元禄15.12 単 独
(赤穂浪士討入につき) 天保11.3写

42- 2 御預り者之覚(赤穂浪士) 野本忠左_エ門カ 元禄15.12 〃

(44) 訴 訟

44- 1 足利尊氏・新田義貞願状の写 足利尊氏 後醍醐帝 (建武2.10) 冊 子
新田義貞

44- 2	覚(三扶持方の会釈等につき)	吉江喜四郎 他4名	本庄弥次郎 他4名	嘉永5.12	単 独
44- 3	(侍組への三扶持方会釈等につき)	米沢藩	諸組頭	安政4.6.4	〃
44- 4	三扶持方、侍組中へ高足之義につき	米沢藩	三筆頭	〃	〃
44- 5	六月四日之晩五組同志之方 入来評決之ヶ条 (扶持方高足につき)	安田氏控		安政4年	〃

(45) 裁 判

45- 1	覚(梅津・若林の欠所につき)			慶安2.2.21	単 独
45- 2	書式類(裁判関係、付幕末 有名人の詩)	大峽氏		明治16.7.24	横 小
45- 3	裁判所言渡書	山形重罪裁判所	略	明治17.10.15	合 綴
45- 4	裁判々決文の残簡			明治以降	単 独

(49) 医 療 ・ 福 祉

49- 1	覚(秘伝相伝につき入費控)	(安田彦平太)		不明	単 独
49- 2	(民間療法)			〃	横 小
49- 3	褒状(医学部建築費寄附)	岡山県知事 干坂高雅	安田秀成	明治23.7.15	単 独

(52) 農 産 物 ・ 畜 産

52- 1	馬集	安田氏控		不明	横 小
52- 2	馬匹治療秘伝(仮称)			〃	単 独
52- 3	〃			〃	〃
52- 4	「馬匹治療秘伝」につき書状	山田吾助(技手)	安田小次郎	昭和5.8.30	〃

(65) 交 通 ・ 鉄 道

65- 1	会津藩兵通行につき御伺			文化5.8.9	単 独
-------	-------------	--	--	---------	-----

(74) 貸 借

74- 1	覚(下書) (九兵衛より借金の件につき)	安田但馬 他1名	新口次郎左衛門 他1名	天保9.5	単 独
74- 2	(九兵衛より借金の件につき)	次郎左衛門	安田友弥	天保9.5.26	〃

74- 3	證文之事(下書) (九兵衛より借金の件につき)	安田友弥	高橋九兵衛	天保9.5	単 独
74- 4	證文之事 (借金利子に知行差向の保証)	東大塚村 安田様百姓 藤吉 他4名	〃	〃	〃
74- 5	證文之事 (貸主に知行差向の保証)	中大塚 孝助	〃	〃	〃
74- 6	書状(笠原藤左エ門隠居懸合 之訳)(貯・兜代金等につき)			天保13.3.13	〃
74- 7	書状(貸金内訳等)	熊倉	安田様	(安政2カ) 12.29	〃
74- 8	熊倉借用品諸書物入	安田氏		安政3.11改	〃
74- 9	覚(貸金の計算書)	熊倉	安田様	安政3.12	〃
74-10	貸金内訳覚		安田(カ)	安政6.11	〃
74-11	添證文之事 (知行年貢で借金返済につき)	安田治部内一 中大塚村百姓一	高橋九兵衛	慶応元.6	〃
74-12	(地頭安田様の借金につき)	東大塚村 市兵衛 他1名	〃	(慶応元)6	〃
74-13	(大塚村知行所のことにつき)	立山口(カ)	門東町	(〃)7.晦	〃
74-14	(知行所百姓とのことにつき)	立山(カ)	〃	(〃)12.26	〃
74-15	(〃)	〃	〃	(慶応2)正.9	〃
74-16	覚(安田家の借金返済につき)	西大塚村 高橋九兵衛	安田氏	慶応年間	〃
74-17	九兵衛申出候趣 (安田家の借金返済につき)	〃	〃	〃	〃
74-18	(高橋九兵衛からの借金一件)	立山(カ)	門東町	12.28	〃
74-19	九兵衛悴申出候趣 (安田様御返済金之一条)	高橋九兵衛	安田	丑12月	〃
74-20	九兵衛口上之趣 (安田様知行差向返済一条につき)			1.7	〃
74-21	書状(知行所からの借金につき)		門東町様	1.9	〃
74-22	覚(貸金の計算書)	熊倉(カ)	安田(カ)	不明	〃
74-23	〃(銭受取証)	国分(カ)内用人	安田様御用人	6.12	〃
74-24	〃(10貫800文の受取証)	国分用人	安田様御用人中	6.18	〃

74-25	書状(岩狭郷屋村にて金策につき)(赤湯にて)		中山様	2.20	単 独
74-26	覚(貸金の受取ほか)	北谷地小路	安田カ	11.26	〃
74-27	安二百両口(借金の計算控)	高橋九兵衛(カ)		(明治5年)	〃
74-28	御請取申事(金子受取り)	熊倉勝弥	安田様御内	明治6.12.29	〃

(75) 売 買

75- 1	(たねが島四丁の受取証)	安田筑前内大熊 他1名	官九左 ^エ 門 他1名	寛永16.1.11	単 独
75- 2	覚(兜売払証)	渡部栄助	三瀧清左 ^エ 門	文化7.11.27	単 独 2 通
75- 3	〃(金の受取控)			万延元～	単 独
75- 4	〃(馬代拝借につき)	安田但馬	藩庁	8月	〃
75- 5	〃(むしろ等買取控)	田制弥六	安田様御用人衆中	卯9.25	〃
75- 6	〃(むしろ等買物報告)	田瀬弥六	上	〃	〃
75- 7	〃(諸買物納品書)	柳町 松田屋源兵衛	成海久左衛門	5.5	〃
75- 8	〃(類当代受取証)	国分 ^(カ) 内 後藤代次	安田様内 成海久左 ^エ 門	6.18	〃
75- 9	〃(納品書)	柳町 源兵衛	上(安田家)	不明	〃
75-10	〃(勘定書)	熊倉		〃	〃
75-11	受取之証	義社学校掛	安田秀成	明治19.12.25	〃
75-12	買物控			明治以降	単 独 3 通
75-13	(安田家道具目録)	安田新太郎 ^(カ)		(明治)	単 独

(80) 寺 社

80- 1	覚(番小屋入料控)	常安寺	安田家カ	天明3.9.26	単 独
80- 2	牌寺之儀一式之留	安田友弥控カ		天保7.4～	横 小
80- 3	万延元年三月より江湖有之候付留	常安寺		万延元年	単 独
80- 4	一切経数(の代金など)			不明	〃
80- 5	常安寺法山和尚遷化より葬式・後往之こと迄仮留			〃	〃

80- 6	書状(牌寺の儀ほか)			不明	単 独
80- 7	西條天満神社由来書	神職 梅本寛教		昭和8.4	冊 子

(82) 社 寺 法 規

82- 1	手扣(両寺の住持選定につき)	米沢藩	常安寺・照陽寺	享和元年頃	単 独
-------	----------------	-----	---------	-------	-----

(84) 祭 典 ・ 宗 儀

84- 1	経文(真言)	杉室主人連山 僧交易(書)		寛文12.4	折 本
84- 2	書状 (屋形様祈禱一万度につき)	御師 一志太夫福元	安田但馬	(寛政～文政) 9月	単 独

(91) 家 系

91- 1	延慶三年鎌倉殿安堵状及び 越後国白河庄安田條ほか讓 状の写(残簡)	陸奥守平朝臣 相模守平朝臣	城資家(カ)	(延慶3年頃)	単 独
91- 2	(安田家系図)(鎌倉期部分) (前後欠)			不明	〃
91- 3	(家系書残片)(文禄3年部分)			〃	〃
91- 4	高梨家由緒書の写			〃	合 綴
91- 5	馬標の旗一金の切さき	安田上総介 筑前守		寛永8.3	単 独
91- 6	安田家由緒書控綴(覚書)			慶安の頃カ	合 綴
91- 7	安田筑前勤書	安田家人(カ)		延宝5年(カ)	横 帳
91- 8	安田家系図下書			延宝年間カ	単 独
91- 9	志賀系図			～元禄頃	〃
91-10	福嶋之系図			～享保10年頃	〃
91-11	安田家譜(前後欠)			(～享保19年)	冊 子
91-12	安田家系図残片			万治～元文	〃
91-13	安田氏系譜			～元文年間	〃
91-14	安田家勤書(前後欠)			元文頃カ	〃
91-15	〃			～元文2年	単 独
91-16	(安田家過去帳控)			明和2.6	〃
91-17	(安田家過去帳)	安田栄秀カ		天明元.10.11	〃

91-18	覚(安田家重要書類目録)	安田秀政	天保年間頃	単	独
91-19	(安田家過去帳控)	安田悌次郎控カ	文久4年	〃	
91-20	(安田家過去帳)		不明	〃	
91-21	安田家由緒書 (上部及び前後欠)		〃	〃	
91-22	安田治部家親の勤書		〃	〃	
91-23	安田家戒名一覧		〃	〃	
91-24	(前欠)安田家由緒書		明和元~明治4	冊	子
91-25	御字之文字相認置候 (悌次郎の名につき)	松木秀実	天保元年	単	独 3通
91-26	(安田家過去帳)(覚書)		明治4年	単	独
91-27	安田家過去帳控綴		明和~明治11	冊	子
91-28	平姓安田氏系図書継下調		明和~明治26	〃	
91-29	安田筑前守の子女書留(覚書)		不明	単	独
91-30	(安田家過去帳)		〃	折	本
91-31	家譜清書ニ付詮議之ヶ条端書	安田秀嶷(カ)	〃	横	小
91-32	安田氏略系控		明治以降作成	単	独
91-33	家族異動之留	安田彦平太	明治20.11仕立	横	小
91-34	(安田家の送籍・移動控)		明治15~同28	単	独
91-35	雑記	安田秀嶷	明治34.10	横	小
91-36	分家後之経歴	安田小次郎	明治42年頃	冊	子
91-37	安田家系図控		昭和57年頃カ	単	独

(92) 家族・相続

92- 1	家督願差出ス所諸留帳平林 藏人殿組但触書留 半知中	安田秀村	宝曆6.11.10	横	帳
92- 2	書状(隠居と家督の御礼)	安田但馬栄秀 長尾権四郎	享和3.1.14	単	独
92- 3	断簡(改名につき)	安田友弥控	享和年間カ	合	綴
92- 4	天保六年五月三日出生 安田悌太郎名(命名書)	祖父選 曾祖父書	天保6.5	単	独
92- 5	(命名書一安田順吉)	安田秀政	天保13.7.30	〃	

92- 6	安田家別家の由来	安田順吉カ		明治初年カ	単 独
92- 7	一類書(部分)	安田氏		明治4年	単 独 2 通
92- 8	書状(諸事報告)	安田順吉	安田秀敏 小次郎	明治35.12.26	単 独
92- 9	書状(近況)(前欠)			不明	〃
92-10	書状(近況知らせ)(中欠)			〃	〃

(93) 家 産 ・ 生 業

93- 1	諸書留	安田悌太郎秀成		明治10～同20	横 小
-------	-----	---------	--	----------	-----

(94) 食 制 ・ 服 制

94- 1	小佛帳	安田順吉カ		明治35.7	横 帳
94- 2	常之飯喰様之事			不明	冊 子

(95) 交 際 ・ 儀 礼

95- 1	書状(直江書状を譲受けた きにつき)	広居左京	安田治部	延享2.6.23	単 独
95- 2	相模様より御口上 (直江書状差上への礼状)	〃	〃	延享2.6.24	〃
95- 3	(湯治見舞)	岩井多治		明和4.6	折 本
95- 4	書状(先祖の古案頂戴につき)	福嶋多仲	安田治部	3.11	単 独
95- 5	〃(年始の祝詞)	北宝院真長	岩井監物	1.11	〃
95- 6	〃(近況と連絡)(前後欠)	安田彦平太	おりの	1.8	単 独 2 通
95- 7	〃	多仲	安田友弥	12.25	単 独
95- 8	(常安寺江遊ニ付入用割)	安田内 外沢源右エ門	斎藤様他5名 の御用人中	9.26	〃
95- 9	口上(書状)	拙老		4.10	〃
95-10	書状(案内)	安田内 三瀧清左エ門	山崎伝右エ門	8.7	〃
95-11	お見舞申受覚(カ)			明治以降	〃
95-12	(礼儀作法諸事書留)			不明	〃

(96) 冠 婚 葬 祭

96- 1	(縁組許可の知らせ)	本庄	安田カ	延享元.6.4	単 独
96- 2	孫誕生につき和歌二首	安田秀俊カ		文政4.正	〃
96- 3	以書付申上候事(控) (相手死去につき婚約解消願)	市川豊後	奉行 3 人	文政5.4.20	〃
96- 4	離別之諸書物入	安田氏		天保2.12.25	〃
96- 5	離別(離縁状)	安田友弥	福嶋掃部	〃	〃
96- 6	(離別の娘受取りにつき)	福嶋掃部	安田友弥	〃	〃
96- 7	書状(妻離別につき)	安田友弥	須田多仲	〃	〃
96- 8	〃(妻離縁につき)	〃	〃 他 3 名	(天保2)12.25	〃
96- 9	縁定之願	〃	清野帯刀	天保4.2	〃
96-10	書状(妹の離別につき)	〃	須田多仲 他 3 名	4.2	〃
96-11	(婚礼のしかた)			不明	〃
96-12	婚礼之節式三献之次第			〃	〃
96-13	謙信様二百年御遠忌之写			安永6.3.13	冊 子
96-14	瓊林院様江戸逝去・葬礼の ことほか(世子顕孝)			寛政6.1	〃
96-15	屋敷よりの行列(葬列)			寛政12.3.29	単 独
96-16	二之丸拾壹ヶ寺江申渡之写 (不識院250年忌につき)	城代		文政10.3	〃
96-17	不識院様二百五拾年御遠忌 御法要之行事			〃	横 帳
96-18	不幸ニ付諸事留帳			天保3.2	〃
96-19	〃			天保6.9.18	〃
96-20	遺物配りヶ所左之通			天保6年頃	〃
96-21	次男早世之節之留(後欠)	安田友弥(カ)		天保7.5.12	単 独
96-22	天保14年7月14日於中山御 役屋御死去之寿光院様同18 日御葬式之留			天保14.7	単 独 5 通
96-23	真如院様御死去ニ付一式之留			弘化2.9.朔	〃

96-24	寿光院様御卒去ニ付留帳			安政2.5.5	横 帳
96-25	庭行列			安政2.5	単 独
96-26	真光院不幸につき留ほか			万延元.10.7	横 帳 2 冊
96-27	御不幸ニ付御手伝帳			慶応2.11.21	横 帳
96-28	不幸ニ付御悔申請帳			慶応3.6.26	〃
96-29	智芳院様御葬式ニ付御行列			慶応3.6.28	単 独
96-30	慶応三年六月廿八日御葬式 行列			〃	横 帳
96-31	葬場人留帳			〃	〃
96-32	積善院様葬式ニ付柳町より 買物	柳町 松田屋源兵衛	安田様御取次	明治15.5.16	単 独
96-33	書状(次男病死ほかにつき)	安田友弥	常安寺	1.22	〃
96-34	口上(死去の知らせ)	窪嶋多七	安田友弥	5.2	〃
96-35	〃 (旦那伯母死去の知らせ)	安田内 成海久左エ門		6.26	〃
96-36	覚(葬礼につき買利物書上)	柳町 源兵衛	成海久左エ門	9.29	〃
96-37	〃 (〃)	〃	安田様御用人	10.7	〃
96-38	〃 (〃)	柳町 松田屋孫兵衛	成海久左エ門	不明	〃
96-39	不幸御手伝帳	膳部		〃	横 帳
96-40	上下袴着(諸家借人控)			〃	〃
96-41	(葬式につき召仕一人借用 依頼)	安田内用人	井上様御用人	〃	単 独
96-42	口上(葬式につき貸人)		安田様	〃	〃
96-43	書状(借り人につき)	青柳弥右エ門	山本長右エ門	11.19	〃
96-44	御葬式ニ付役割			10.9	〃
96-45	十一月廿一日御葬式ニ付役 割(安田家当主のものカ)			不明	単 独 2 通
96-46	(葬列の書立て) (安田家当主のものカ)			〃	単 独
96-47	御途中行列(葬列) (安田家当主のものカ)			〃	〃

96-48	寺御行列(葬列)			不明	単独 7通
96-49	屋敷よりの葬列			〃	単独5通 合綴1通
96-50	葬列次第(寿光院様)			5.5	横帳
96-51	法要念ヶ所付			不明	単独
96-52	服忌のしかた			〃	折本
96-53	冠婚葬祭の名附残簡	安田氏控		明治初年カ	単独

(97) 民間信仰

97- 1	佛説化珠保命真経	安田秀積写カ		正徳2.4写	折本
97- 2	赤子夜鳴之墓目	黒川小平太	安田彦平太	正徳2.7.23	単独
97- 3	死霊之墓目加持	〃	〃	〃	〃
97- 4	幽霊墓目大事	〃	〃	〃	〃
97- 5	付物之墓目大事	〃	〃	〃	〃
97- 6	的祭之秘法	〃	〃	〃	〃
97- 7	大秘法一張明見(加持之密法)	〃	〃	〃	〃
97- 8	墓目之次第(呪法の伝書写)	〃	〃	〃	横帳
97- 9	一張之弓(当流秘伝)	〃	〃	〃	単独
97-10	琴玉射儀指南	〃	〃	〃	〃
97-11	墓目伝授之式 第四卷 (祈祷のしかた)			(正徳2年カ)	横小
97-12	當流墓目内伝法(加持の法)	千坂高就写		享保4.8	単独
97-13	大黒陀羅尼	清宗		元文元.8	〃
97-14	天罰神文	池田庄兵衛		元文3.10.15	〃
97-15	護身法相祀(43仏神名記載)			明和4.閏9	横小
97-16	礼文(唱文)			不明	単独 2通
97-17	妄想につき光明真言のこと (前後欠カ)			〃	単独
97-18	(大黒天への御供物図)			〃	〃

97-19	惣して馬に忌む日の事	不明	単 独
97-20	馬禄の日取調之方(カ)	〃	単 独 2 通

(98) 年中行事 娯楽・芸能

98- 1	書状(赤湯泊りにつき)	赤湯にて 我等より	中山太郎作殿	2.18	単 独
-------	-------------	--------------	--------	------	-----

古文書近世史料目録 第18号

米沢市 安田家文書

1996年 3月 1日発行

編集兼
発行人 山形大学附属博物館

山形市小白川町1丁目4-12

☎ 0236 (28) 4930 (直通)
